

大自然に抱かれて、豊かな時間を楽しむ家。

高橋建築舎

文／荻原美穂 撮影／金井良介



1. 四方の窓から陽射しが差し込む、明るく気持ちの良いリビング。窓の外には森を隔てて八ヶ岳の眺望が広がっている。
2. 重厚なスチールと民芸調の家具が織り成す、魅力的なキッチン。お嬢さんと二人で料理を楽しむこともあるそう。
3. リビングから続く個室は、プライベートな空間。普段は夫妻の寝室として利用している。

木々のさざめき、川のせせらぎ、
ときおり聞こえる野鳥の声…
ここは、大自然が息づく森のなか、
都会暮らしのご夫妻が週末ごとに訪れて、
豊かな暮らしを楽しんでいる
美しい住まいがありました。



HOUSE DATA

- 所在地：北杜市
- 家族構成：夫婦、子ども2人
- 間取り：2LDK+ロフト
- 竣工：2015年10月

＋ 大好きな自然の中で、
楽しみながら暮らしたい

若い頃から、夏はウエークボード、冬はスキー、春や秋には魚釣りと、週末になるたび自然とのふれあいを楽しんできたというS様ご夫妻。「自宅のある埼玉県川口市から車で約2時間であることのできる山梨は、僕らにとって絶好の遊び場でした」。そんなS様ご夫妻が、いつかは田舎で暮らしたい、そのために、どこかに拠点を作ろうと考えるようになったのは数年前のこと。まずは土地を求めて、富士五湖周辺や長野県の富士見町近辺まで広いエリアを回ったという。「この土地に巡り会うまで、2年ほどかかったでしょうか。偶然にも最初に見に来たのがすぐ上の場所。見事な眺望は魅力的でしたが、あまりにも不便だったのでその時は見送りました。ところが月日がたつて、当時鬱蒼と木々が茂っていたこの場所が、造成され、別荘地として売り出されました。縁があったのでしょね」。金属加工を事業とするS様。仕事をするにはある程度広い場所が必要と、思い切って6区画約2400坪を手に入れた。さて、次は家が欲しい。

「その頃にはここでの暮らしのイメージが出来上がっていて、簡単な図面も自分で引いていましたから、それを作ってくれるパートナーを地元で探そうと再び白州通いが始まりました。インターネットで調べて何社か訪ねてみたものの、資金が少なくせにいろいろと注文を付けるものだから、なかなか話がまとまらないんです。その日も数社目の工務店と破談になって、ジリジリしながら、『これが最後。ここがダメなら諦める！』とすごい剣幕で、偶然目に入った工務店に飛び込んだんですよ。」
それが高橋建築舎との出会いだった。

職人技の競演が生む、 オンリーワンのこちよさ

「案内していただいたオープンハウスは、天然木の魅力が存分に味わえるとても素敵な建物でした。木には癒し効果があると聞きますが、荒ぶっていた主人の感情がスーッと穏やかになっていくのが、隣に感じてくれました」と当時を振り返る奥様。ご主人も「仕事の確かさ見事さは、オープンハウスを拝見してすぐにわかりました。でも、それ以上に魅かれたのが、社長の心意気。話の端々に職人のプライドを感じ、「この人は、納得のいかない仕事はやらない人だ」と確信したんですね」と笑みを浮かべる。

S様ご自身が、長年職人としてプライドを持ってモノづくりに臨んできただけに、金属加工と建築、分野こそ違えど、高橋社長に同じ匂いを感じられたことが何より嬉しかったのだらう。「この人なら間違いない」と判断したS様は、温めて来た図面と予算を差し出して、その場でお願いしたという。

天然素材のぬくもりに溢れたS様邸。外壁には杉板を贅沢に使い、瀟洒な庵の風情が演出されている。ドアを開けた途端、全身を包む香しい木の匂い。吹き抜けのリビングは悠々としていて、ゆったりと寛げる憩いの場。無垢の杉板の床も、柔らかな感触でこちよい。一角には、使い勝手の良さそうなキッチン。重厚なステンレスのシンクと民芸家具の食器棚。おもしろいほどにマッチしていて、思わずため息が漏れる。

リビングのもう一つのアクセントが階段。厚みのある無垢材の踏板に華奢なアイアンの手すりを組み合わせ、軽やかな印象に仕上げた。トントントンと上に登れば、そこは多



4. 裏手には立派なバーベキューハウス。広いデッキを挟んでリビングとつなげ、大人で楽しむこともできる。
5. 趣のある庭先の池は、S様が自ら造作。伏流水をかけ流しにし、釣ってきた天然のアユを放している。
6. 天然の一枚板が美しいリビング階段。華奢なアイアンの手すりもおしゃれ。
7. 天然の無垢材ならではの木目が心を癒すロフト。木工にも挑戦したいと意欲満々のご主人が、奥の壁でセルフビルドに挑戦中。



くの来客が来て泊まれる広々としたロフト。床にも壁にも天井にも、美しい木目が浮かび上がっていて、その場にいらただけで心が癒されていくのを感じる。

さらに、驚かされるのはリビングの外。大窓から続く広いデッキの先には、バーベキューハウスが設えられている。お天気の良い日はここで家族や友人と食卓を囲み、季節と自然を愛でるのだという。

標高880メートル。大自然に囲まれて、優雅に時を刻むS様邸。「当分は、木を伐採して庭を作ったり、ここを拠点に尾白川や釜無川で釣りに興じたりして週末暮らしを楽しみ、ゆくゆくはこちらでものづくりをして暮らせたらと思っっているんですよ」とご主人。この場を拠点に本職の金属加工はもちろん、木工や園芸など、いろんなものづくりに挑戦していきたいと語る眼差しは、少年のように輝いていた。

FAVORITE POINT

天然素材とスチール家具の 絶妙なコラボ

邸内のスチール製品は、S様のオリジナル。きっちりと取まりのよい天然木の壁と、確かな作りのシンクやキャビネット。職人技の競演が、新たな魅力を引き出し合っていて、とても素敵。



願いはひとつ、家族のしあわせ

ご家族の思いや暮らしのあり方と真正面から向き合い、「どれだけ幸せに住み続けていただけるか」を大事に考え、「本当に必要な家」をご提供することに努力しています。

お客様のライフスタイルにあわせた4つのタイプをご用意。すべて完全自由設計でプランニングします。

シンプルデザイン

ベビー無垢デザイン

無垢デザイン

ティンバーフレーム
デザイン

もっと詳しく知りたい方は [高橋建築舎](#) [検索](#)

有限会社 高橋建築舎 高橋 敦

山梨県北杜市大泉町西井出8240-6959 TEL 0551-38-8151 / FAX 0551-38-3979



8. 9. 「オープンハウスのお風呂があまりにも良かったので、同じ仕様にしてもらった」という十和田石と御影石で作られた浴室。周囲の視線を気にすることなく窓外の広いテラスに出られるようになっていて、温泉気分も味わえる。

